

大腸癌研究会プロジェクト研究

「MRI 診断能に関する研究」委員会 第 14 回議事録

研究代表者 川合一茂(都立駒込病院大腸外科)

日時 第 100 回大腸癌研究会・2024 年 1 月 25 日(木)10:30~11:00

場所 浜松町コンベンションホール 6F 大会議室 B

出席者：相原 一紀、板谷喜朗、井本良敬、岩佐陽介、岩本一亜、上野剛平、江本成伸、大内晶、大木悠輔、小川真平、落合大樹、笠井俊輔、梶原由規、川口裕之、吉敷智和、小杉千弘、小寺賢、佐伯泰慎、坂本一博、佐々木和人、山東雅紀、島村智、杉本晃祐、杉本起一、須藤剛、須並英二、曾田悠葵、高島順平、田所裕規、中守咲子、夏目壮一郎、番場嘉子、肥田侯矢、廣瀬裕一、藤本浩輔、藤吉健司、三浦卓也、虫明寛行、村田悠記、望月秀太郎、森川充洋、米村圭介

【50 音順】

【敬称略】

議題 1. 前回議事録確認

前回委員会の議事録を確認した。

議題 2. Step1 付随研究の進捗報告 名古屋大学/静岡がんセンター/京都大学/防衛医大

・名古屋大学

委員長川合より現在論文作成中であること報告した。

・静岡がんセンター

静岡がんセンター笠井先生より進捗状況をご報告いただいた。

予後解析に関しては、現在 AGS に論文投稿中である旨報告いただいた。機械学習を用いた直腸癌側方リンパ節転移診断に関する研究では、528 種類の機械学習モデルを作成。内、3つのモデルで感度の高い結果が得られ、同内容を現在 BJS open に投稿中であることをご報告いただいた。

・京都大学

京都大学星野先生より、現在 AGS に論文投稿中であることご報告いただいた。

・防衛医大

防衛医大梶原先生より、現在提供いただいたプレパラートをデジタルスライド化しており、現在 80 例ほど完了している旨、プレパラートの送付手順に関して説明いただいた。

質疑内容・意見

・EMVI の評価をするための検討なのか(委員長・川合)

→EMVI 周囲の間質の変化、その他病理学的因子を調べ、EMVI、予後との関連を検討する旨報告された。

・すべてのスライドが必要なのか。(委員長・川合)

→EMVI がどこに発現するかわからないため、癌が含まれている切片は全てご提出いただきたい。各施設での選別は困難と思われるので、全てのプレパラートを送っていただく形で良い旨報告された。

議題 3. Step1 附随研究 (MRI 上側方転移陽性症例における NAC/CRT の予後比較)の進捗報告 弘前大学

弘前大学三浦先生より進捗状況をご報告いただいた。MRF+/-における、NAC、CRT、upfront の治療効果、予後の検討を行った。前治療後 MRF 陰性症例では、CRT/NAC で予後に差を認めなかったことから、NAC 後 MRF 陰性症例では、放射線治療を回避できる可能性が示唆される結果となった旨報告いただいた。

質疑内容・意見

・OS は今回評価しているのかとご意見いただいた。(京都大学・肥田先生)

→OS は今回検討していない旨報告された。

・術前側方転移陽性例に限った検討か。(委員長・川合)

→側方転移陽性症例のみの検討である旨報告された。

・MRF ポジティブが疑われる症例では RT を行ったほうがよいという理解で良いか。(委員長・川合)

→術後 CRF ポジティブであった症例は再発率が高いため、MRF ポジティブが疑われる症例に対しては RT が必要と考えられる旨報告された。

議題 4. Step2 画像データ・CRF の収集状況と画像中央解析の進捗報告

委員長川合より、現在の CRF、画像データの収集状況、画像解析の現状を報告した。未提出の施設へは改めてご連絡申し上げる旨、予後調査のご提出のお願いを報告した。

議題 5 その他

特記事項なし